

## §74 倒置構文

### 課題文

名刺は日本では特に仕事の上で重要な役割を果たします。名刺には、氏名、住所の他に、職業、会社名、肩書などが記されています。

### 文法研究

#### 📖 倒置するわけ

〈倒置〉という文法用語を聞いたことがあるだろう。通常の文は〈主語＋動詞〉の順番だが、時々〈動詞〉の方が先で〈主語〉が後ろになることがある。これを〈倒置〉と呼ぶ。さて、この倒置する理由について考えたことがあるだろうか。倒置構文を使う書き手も、ただ闇雲に倒置させているわけではあるまい。それなりの理由があるはずである。

(a) *Yodobashi Camera is in front of Shinjuku Station.*

「ヨドバシカメラは新宿駅の前にある」

(b) *In front of Shinjuku Station is Yodobashi Camera.*

「新宿駅の前にあるのはヨドバシカメラだ」

(a) と (b) の訳語を比べてほしい。日本語でも多少違いがあることに気がつくだろう。(b)の方が、「新宿駅の前にあるのは、ビックカメラではなく、ヨドバシカメラだ」という意味で「ヨドバシカメラ」という語が印象的に残るのではないか。ちなみにCMは(b)の語順である。CMでまず大事なことは店名を覚えてもらうことだろう。視聴者にインパクトを残したいのなら、いちばん強調したい語は最後に回すのが人間の常ではなかろうか。

#### 📖 旧情報と新情報

〈情報構造〉という文法の考え方がある。情報を旧情報と新情報の二種類に分け、文章における情報は旧→新へと流れていく(配置される)とする考え方である。〈旧情報〉とは「聞き手も知っていると予想されること」で、〈新情報〉とは「聞き手は知らないと予想されること」である。そして、話者としては、相手が知らないと思われる〈新情報〉を際立たせたいわけだ。統計を取った結果、一般には〈旧情報〉は文頭に現れ、〈新情報〉は文末に現れることがわかってきた。これは英語に限らず、日本語でもそうである。やはり、言いたいことは最後に回すのが、人間の心理なのかもしれない。

#### 📖 「名刺には～が記されています」の訳は？

そこで、倒置する理由もここにあると考える。ふつうの文は〈主語＋動詞〉の順番だが、それは主語が旧情報の場合である。時には主語が新情報になるときもある。そのようなときに倒置現象が起きる。(b)の文がその典型的な例であろう。また、旧情報を文頭にしたいがために倒置することもある。本問の第2文の「名刺」は旧情報である。第1文で「名刺」は一度登場しているからだ。「名刺には～が記されている」という構文を直訳すると、～ is written on them となるが、them (= name cards) は旧情報なので文末にしたくない。旧情報は文頭にするのがふつうなので、On them is (written) ～の語順になる。～の部分新情報なので文末に来る。ただし、「名刺は～を提供する」と意識するなら素直に名刺を主語にして、They supply ～でよい。Theyは旧情報だからだ。

### 英訳例

(A) In Japan name cards are important, especially in business. On them are a person's job, his company name and his title, as well as his name and address.

(B) Name cards play an important role in Japan, especially in business. They supply information about the other person's job, company name, and title, as well as his or her name and address.

### 表現研究

#### ● 名刺

calling cards《米》/ visiting cards《英》は古い。昔、貴族を訪問する際に召使いに見せるもの。通常ならbusiness cardsは可だが、この文では文末に「特に仕事で」(especially in business)があるから重複する。

#### ● 職業

job / occupationは可。professionは「専門職」だけを指す。

#### ● 会社(名)

companyは「名称としての会社」だから可だが、officeは「部屋」を意味するので不可(⇒p.175)。the names of companies they work forでもよい。「会社で働く」(work for a company)の前置詞がforであることにも注意。